

赤砂一本柳「ふれあいの里」整備体験事業

申請内容

赤砂地区の一本柳地域周辺を、「ふれあいの里」として整備する。整備にあたっては、地域住民が主体となり、協働して取り組むことで地域の連帯意識の高揚を図る。

現在、整備予定地は果樹園となっており、僅かではあるが、周辺にほたるが生息している。現存する果樹を活かし、こども達が果実を収穫体験できる場とするとともに、水路の築造を実施し、ほたるが生息しやすい環境整備を行うなど、地域の特性を活かした町民が集える交流の場を創出する。

実施内容

赤砂一本柳地籍周辺を、昆虫や植物・果樹等自然環境豊かな「ふれあいの里」として整備するために以下の事業を実施した。

1. もみの木とリンゴの木を移植

敷地北側に3本のもみの木を移植した。敷地農家から提供されたリンゴの木を2本移植した。

2. ホタルが生息するよう水路を築造し周辺を整備した。

敷地西側用水路脇に水路を築造し、用水路上流に取水口、用水路下流に放流口を造った。

水路壁は自然に近いよう、右岸をカラマツ、左岸を石積みとし、水路底には玉砂利を敷いた。

3. リンゴの木、ラフランスの木の消毒作業、摘花・摘果作業を行い、それぞれ収穫を行った。

4. 県砥川改修工事で造成した進入道路の東側土手への安全柵として、仮設柵を設置し、土手下には近隣住民から寄贈された紫陽花など約30本を植栽し、整備した。

5. 地下伏流水排水口が進入道路に埋もれてしまうため、新たに伏流水排水管を約10m埋設し排水口に排水ポンプを設置した。